

平成26年6月27日発表

担当課：商業観光課

## (熊谷市) 記者クラブ取材情報

事業の名称等 熊谷うちわ祭について

1. 実施日時等 平成26年7月20日(日)～22日(火)
  2. 会場・主催地 熊谷市街地、お祭り広場ほか
  3. 主催者・関係者  
(1) 団体名等 熊谷うちわ祭 平成26年 年番町仲町区 熊谷うちわ祭協賛会事務局  
(2) 代表者名 大総代 八木橋 宏貴 TEL 048-527-0002
  4. 事業内容  
熊谷で江戸時代から続く八坂神社の祭礼。“関東一の祇園”と呼ばれ、例年、3日間の開催中に約70万人の観光客が訪れる、本市を代表するお祭りである。  
21日、22日には、国道17号を含めた市街地で交通規制が行われ、12台の山車・屋台(21日には籠原本町も参加し計13台)が勇壮な熊谷囃子を響かせながら巡行する。
  5. 目的・理由  
疫病退散、五穀豊穰など人々の祈りや願いを込めて始められた。名前の由来は、渋うちわを客にふるまったことによる。
  7. 影響・効果  
熊谷市観光協会にて、市街地の混雑の緩和・交通対策として、21日(月)、22日(火)にパーク&ライド事業を実施します。
  8. この事業の実施による特記事項・PRポイント  
・ 昨年に引き続き、お祭り期間中の21日(月)の朝、コミュニティひろばに長野県の山ノ内町から雪と足湯が届きます。  
・ 今年は、ふるさと再発見「祭りの力」をテーマに、お客様をお迎えします。  
・ 開催の事前PRとして、12町区の山車・屋台の説明パネル展示を6月28日(土)まで市役所1階ロビーで行っています。
- (1) 県内の状況  
ア. 県内で初めて イ. 県内で 番目
- (2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※ 資料の有無 (  有 ・ 無 )

担当者 熊谷市産業振興部商業観光課

丸山・金井

連絡先 TEL 内線313

熊谷市指定無形民俗文化財

関東一の祇園

# 熊谷うちわ祭



7月20日(日)/21日(月)/22日(火)

平成26年 年番町 仲町区 大総代 八木橋 宏 貴

お問い合わせ : 048-527-0002 <http://uchiwamatsuri.com>

うちわ祭は、当地に鎮座いたします八坂神社のご祭礼です。八坂神社は、文禄年間（一五九二〜）京都の八坂神社を勧請し、現在鎌倉町の地にある愛宕神社に合祀されたもので、京都八坂神社の末社にあたります。

熊谷の夏祭りの記録が文書に出たのは、江戸時代の寛延三年（一七五〇）で、これによりますと、もとは各寺社ごとに別々に行っていたとあり、同年四月に町民から宿場役人に願ひ出て許され、以来各町内いっせいに言うようになりました。この時代から、熊谷の夏祭りの形態が作られたといえましょう。

各町から総代・祭事係、年番町から大総代が選ばれ、祭りの一切の責任を負いますが、これはもと寺社で行っていた名残を伝えているもので、その頃の祭事係は一躍、役人と同じ権力をもち、ご用番ともいい、仲々の名譽役で、旧家でないと祭事係にはなれなかつたそうです。

祭りの日、参勤交代の大小名もしばしば通行止めに遭い、しかたなく熊谷堤を往来しなくてはならず、「八坂神社のお祭りには、大小名も一歩遠ざかつて通つた」と、当時の町民は得意げに語つたといわれています。

天保時代（一八三〇〜）が祭りの中興といわれ、この祭りの日、各戸で赤飯を炊いて疫病除けをしました。商店では祭りの期間中、買物客に赤飯をふるまつた事から、熊谷の「赤飯ふるまひ」は祭りの名物になりました。

うちわ祭の起こりは、この手数のかかる赤飯のかわりに、料亭「泉州」の主人が江戸から買い入れた渋うちわを客にふるまつたところ評判になり、のち各商店でも赤飯の代わりにうちわを出したため、誰いうとなく「買い物は熊谷のうちわ祭の日」といわれるようになりました。事実、三銭の買い物にも五銭のうちわをふるまつたことから、その評判は大変なものでした。

こうした疫病退散祈願に始まつたこの祭りも、いつしか五穀豊穡、商売繁盛をも祈願する祭りとなりました。

The Uchiwa Festival is enshrined here in the Gosaka Shrine. The Gosaka Shrine was transferred from Kyoto in the Bunsekiu Era (1578~), and was enshrined together in the Atago Shrine now in Kamakura Eram and is now a branch of the Kyoto Gosaka Shrine.

With records of Kamagaya's Sumome Festival appeared in the third year of the Kan'ei Era of the Edo Period (1751), and according to them, it was originally carried out at various temples and shrines. In April of the same year the townspeople asked local officials for, and got permission to have it in every neighborhood. It is said the style of the Kamagaya Sumome Festival was made at this time.

In every neighborhood representatives and leaders were chosen, and from an annual duty neighborhood a top representative was chosen to have total responsibility, and as a remnant of the old festivals held at temples and shrines, festival representatives in those days had temporary high positions with authority equal to town officials, and as they were persons of quite good status, it seems only members of established families could get them.

On the day of the festival even samurai lords of both high and low status were met with cloud coats and had no choice but to travel along the riverbank, the townspeople of the town were said to have boasted.

The Edo Period (1657~) is called the festival revival, and on its festival days, at every hour uchiwa and rice was cooked to protect against illness. It is from shops giving uchiwa rice to customers during the festival that uchiwa rice giving became a specialty of the festival.

At the start of the festival, one proprietor of a first-rate Japanese restaurant, 'Shokku', is reported to have given out uchiwa fans instead of the hard-to-make uchiwa rice, and then an inn owner, who did so, every one came to see. Kamagaya's festival days are shopping days.

Even for a man, a month of shopping, it was reputed amazingly, that's an uchiwa fan was given out. What started as a festival to wish for good health eventually became a festival to wish for good harvest and prosperous business.



熊谷うちわ祭  
平成二十六年 年番町 仲町区  
大総代 八木橋 宏貴

### ふるさと再発見「祭りの力」

平成二十六年八坂神社大祭熊谷うちわ祭の大総代を仰せつかりました年番町仲町区の八木橋宏貴でございます。

「関東一の祇園」と言われる今年の熊谷うちわ祭は、七月二十日(日)二十一日(月)二十二日(火)の三日間、街中が熱気と興奮に包まれ、盛大に実施されます。

この祭りは、八ヶ町の持ち回りにより年番区をきめ、その町内より大総代が選ばれ、その祭りの全てを取り仕切ることにあります。

また、祭りの趣旨は、疫病退散、五穀豊穡、商売繁盛の祈願神事であり、名前の由来は、当初夏祭りの期間中に各商店が買物客に赤飯をふるまつたのが、その後手数のかかる赤飯からうちわをふるまうことに代わり、それが評判を呼んで「うちわ祭」という名称で親しまれるようになりました。現在は、各町十二台の山車・屋台が三日間に渡り勇壮な「叩き合い」を繰り広げ、あつい熊谷の夏を彩っております。

今年も、ふるさと再発見「祭りの力」をテーマとして掲げ、熊谷の魅力を全国に発信すると共に、祭りを通じて人と人、人と故郷とのつながりを改に見つめなおしてもらいたい、という思いのもとに一致団結して取り組んでおります。

そして、「殿師磐石(でんしばんじやく)」という言葉を宮司よりいただきました。殿師とは軍隊の殿(しんがり)、すなわち殿軍のことであり、建制順の殿である仲町区が磐石で祭りを、次年の魁たる式年の祭りに備えるべしとの意味を持つものです。

二百六十余年も続くこの祭りが、平成二十四年より熊谷市指定民俗無形文化財に指定されたことを受け、その名にふさわしい御祭となりますようお願いを込めて全力を尽くします。祭関係者一同、皆様のお越

しを心よりお待ちしております。

21日(月)

行宮祭

場所 行宮  
時間 九時〇〇分

交通規制で歩行者天国となった国道十七号に、十二台の山車・屋台が集合し、年番町を先頭に西に向かい折り返して東を目指します。

全町山車・屋台が十七号を巡行し、最終地の銀座で叩合いの後、巡行祭が終了します。



Junko Ceremony

The 12 celebratory portable shrines are paraded down completely vehicle-free Route 17, with the sound of drums and gongs.

巡行祭

場所 国道十七号  
時間 十三時〇〇分〜十六時〇〇分

20日(日)

渡御祭

場所 八坂神社  
時間 六時〇〇分〜十時三〇分

関係者約三〇〇人が本宮に集まり「渡御祭興祭」が行われます。各町の若頭一〇〇人が白丁をまとい「途上奉幣祭」で地域を浄め、行宮に向かいます。

行宮に神輿を安置し「渡御着興祭」が行われます。



Togyo Ceremony

This is a ceremony of the beginning of the Uchiwa Matsuri Festival. The portable sacred shrine is taken out of the Yasaka Shrine and carried to the "Angu" temporal shrine.

初叩合い

場所 JR熊谷駅北口  
時間 十九時〇〇分

全町の山車・屋台がJR熊谷駅東口に集結、初叩き合いを待ちます。

山車・屋台は熊谷駅東口より、北口駅前広場へ移動。

三日間にわたる祭の最初の行事である「初叩合い」を行い、初日を終えます。



The First Meeting

In front of JR Kumagaya Station, accompanied with traditional Japanese music, all of the 12 celebratory portable shrines get together for the first time in the festival.



山車 筑波区

製作 昭和三十六年  
寸法 H四七五〇×W二七七〇×L四七八〇  
人形 日本武尊  
見送り幕 青龍



山車 第本町区

製作 天保年間  
寸法 H四八五〇×W二八〇〇×L五一〇〇  
人形 天手力男命  
見送り幕 火焰太鼓と長鳴鳥



山車 第壹本町区

製作 明治三十一年  
寸法 H四八〇〇×W二七七〇×L四五五〇  
人形 神武天皇  
見送り幕 相剋龍虎



山車 仲町区

製作 昭和三十年  
寸法 H四七〇〇×W二七七〇×L四九〇〇  
人形 素戔鳴尊  
見送り幕 天女奏樂團



屋台 録倉区

製作 昭和二十八年  
寸法 H四七〇〇×W三五〇〇×L五〇〇〇  
見送り幕 松と火炎太鼓



伊勢町区

製作 昭和五十四年  
寸法 H四四〇〇×W二五〇〇×L三八五〇  
見送り幕 額縁絵の龍

行宮で大総代が神官の浄衣をまとい、自ら祝詞を奏上します。



叩合い

場所 お祭り広場  
時間 二十時〇〇分

全町の山車・屋台が国道十七号を中心に各所で曳合せ叩合いの後、お祭り広場に集結し、勇壮な囃子が響きわたり、祭はクライマックスを迎えます。

年番送り

場所 お祭り広場  
時間 二十一時〇〇分

年番町、迎元年番町がステージに上がり、前年大総代による口上に続き「年番札」を送り渡し、その後関係者・見物客全員で祭の発展と皆様の幸せを祈願して「手締め」を行い、お囃子を再開します。

還御祭

場所 行宮  
時間 二十三時三〇分

関係者一同が行宮に集まり「還御祭典」が行われます。その後、熊谷祇園会三〇〇人が、神輿を本宮までかつぎ、本宮にて「還御着興祭」が行われ、三日間に及ぶ祭のすべての行事が終了します。



**Kangyo Ceremony**  
This is the festival's closing ceremony. The portable sacred shrine is carried back to the Yasaka shrine, then the whole 3-day festival finishes.



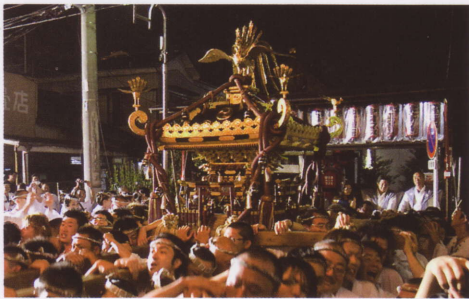
**Takeover Ceremony**  
This is a ceremony where the district on duty hands over leadership to the next district for the next festival year.



**The Grand Meeting**  
The procession snakes along Route 17 with onboard bands battling each other until the Grand Finale at the Festival Square on the last night.



**Angu Ceremony**  
The Daisodai, who is in charge of directing the entire Uchiwa M for a designated year, dressed in a Shinto Priest's white Kimono reads out a prayer scroll at the temporal shrine, "Angu".



**山車 荒川区**  
製作 平成二十四年  
寸法 H四七五〇×W二七五〇×L五五〇〇  
人形 大国主  
見送り幕 双龍



**屋台 彌生町区**  
製作 大正十三年  
寸法 H四八二〇×W二八八〇×L四八〇〇  
見送り幕 松と鶴、波に亀



**山車 銀座区**  
製作 平成六年  
寸法 H四九五〇×W二九三〇×L五〇〇〇  
人形 熊谷次郎直実公  
見送り幕 桐と鳳凰



**屋台 石原区**  
製作 昭和十二年  
寸法 H四九五〇×W三一〇〇×L四九〇〇  
見送り幕 鶴と亀



**屋台 本石区**  
製作 昭和十二年  
寸法 H四九五〇×W三三〇〇×L五〇〇〇  
見送り幕 唐獅子牡丹子落し図



**屋台 櫻町区**  
製作 平成六年  
寸法 H四六〇〇×W二五〇〇×L四六一〇  
見送り幕 大樹の櫻

# park & ride



パーク＆ライド(無料パーキング & 無料送迎)

臨時駐車場「熊谷スポーツ文化公園」とお祭り会場「熊谷駅北口」間を15分~20分間隔で無料送迎バスが運行します。

## ご利用案内

### マイカーで駐車場へ

熊谷スポーツ文化公園臨時駐車場(西第2多目的広場)へお越しいただき、臨時駐車場バス乗り場より乗車。

### バスでお祭り会場へ

無料送迎バス(国際十王バス)でお祭り会場へ移動

### お祭り会場から駐車場へ

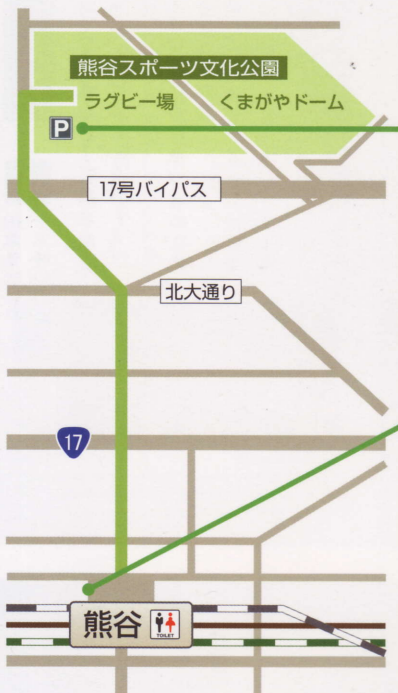
熊谷スポーツ文化公園行きバス(国際十王バス)で駐車場へ移動

[注意] 乗車チケットは、当日臨時駐車場にて配布いたします。乗車チケットは、往復の乗車券になりますので、紛失にご注意ください。

### パーク＆ライドに関するお問合せ

熊谷市観光協会 TEL.048-524-1111

うちわ祭期間中は、周辺道路が大変混雑しますのでなるべく公共の交通機関をご利用下さい。



## 熊谷スポーツ文化公園臨時駐車場

### 時刻表

熊谷駅ゆき	
7月21日(月)	7月22日(火)
00 20 40	11
00 20 40	12
00 15 30 45	13
00 15 30 45	14 00 15 30 45
00 15 30 45	15 00 15 30 45
00 15 30 45	16 00 15 30 45
00 15 30 45	17 00 15 30 45
00 15 30 45	18 00 15 30 45
00 15 30 45	19

## お祭り会場周辺バス停

### 時刻表

スポーツ文化公園ゆき	
7月21日(月)	7月22日(火)
30 45	15 30 45
00 15 30 45	16 00 15 30 45
00 15 30 45	17 00 15 30 45
00 15 30 45	18 00 15 30 45
00 15 30 45	19 00 15 30 45
00 15 30 45	20 00 15 30 45
00 15 30 45	21 00 15 30 45
00 15 30 45	22 00 15 30

※最終は22:30です。乗り遅れないようにご注意ください。  
国際十王交通株式会社 熊谷営業所 TEL.048-521-3560

## 山車・屋台定位置



巡行時間以外の山車屋台は決められた場所へ帰ります。各町区の特徴を紹介した看板を前に次の巡行を待ちます。※夜の巡行後は、それぞれ山車屋台庫へ格納されますのでご覧いただけません。

## Geographic Information System



## 山車・屋台位置情報

7月20日・21日・22日

[祭期間中のみの配信となります]

パソコンからでも携帯からでも、山車・屋台の現在位置をリアルタイムに検索できます。



パソコンからは、<http://uchiwamatsuri.com>、携帯からはQRコードよりアクセスしてください。

※山車・屋台位置情報の配信時間は、PM1:00~PM9:30(予定)。時間帯によりアクセスしにくい場合があります。

山車・屋台位置情報システム / 提供: 立正大学 協力: docomo

## 熊谷うちわ祭 公式スポンサー

私たちは「熊谷うちわ祭」を応援しています!

**KIRIN**

一般社団法人  
**熊谷市医師会**

**ADDIS MUSE**  
株式会社 アディスマユース

**伊藤園**

**Coca-Cola East Japan**

**埼玉縣信用金庫**

一般社団法人  
**熊谷市歯科医師会**  
Kumagaya Dental Association

一般社団法人  
**熊谷薬剤師会**

**埼玉りそな銀行**  
RESONA

**サンアイホーム**  
facebook サンアイグループ公式facebook

**JR東日本**

**J:COM**

**JTB** 株式会社 JTB関東  
感動のそばに、いつも。

**DJIDO** 未来を語る人が好きです  
**大同生命**

**秩父鉄道**

**日本生命**  
NISSAY

**馬車道** BASHAMICHI グループ

**ファイブズホーム**

**富士電機**  
Innovating Energy Technology

**Belc** **ベルコ**

**武蔵野銀行**

「モラリスト×エキスパート」を育む。  
**立正大学**

7/20  
(日)

❖ 規制案内 ❖

- 18:30~19:30
- 18:30~20:00

- 車両通行禁止(時間別)
- 無料駐車場
- 臨時バス停留所
- 休止バス停留所
- 車両通行禁止(時間別)
- 迂回路
- お手洗い

●交通規制時間前後は、大変混雑が予想されますので、お車をご利用の際はご注意ください。



7/21  
(月)

❖ 規制案内 ❖

- 13:00~21:00

熊谷スポーツ文化公園  
ラグビー場 くまがやドーム

park & ride  
パーク＆ライド(無料パーキング & 無料送迎)  
パーク＆ライドについては裏面を参照してください。



7/22  
(火)

❖ 規制案内 ❖

- 13:00~22:00
- 18:00~21:00

熊谷スポーツ文化公園  
ラグビー場 くまがやドーム

park & ride  
パーク＆ライド(無料パーキング & 無料送迎)  
パーク＆ライドについては裏面を参照してください。

